

# 理事会議事録

横浜スキー協会															横ス協30総013号				
会議名称			平成30年度 第6回			実施日時			平成31年2月13日 水曜日 19:00~21:00										
会議会場			県民サポートセンター1501会議室			記録係			西田		印		理事長			印			
出席者	会長	副会長	理事長	副理事長			理事					監事		凡 例					
	河邊	鈴木	坂田	小沼裕		西田	森山	五月女	小沼み	飯塚		東島	小川	出席	遅参	早退	遅早退	欠席	
	○	○	○	×		○	○	×	×	△		△	×	○	△	▽	◇	×	

1. 河邊会長挨拶

雪上行事は折返し。けががなく順調に進めている認識。  
来週のポール合宿、市町村対抗等行事が続くので、体調管理をよろしくをお願いします

2. 本日の議題（坂田理事長）

2. 1 報告・審議事項

2. 1. 1 総務部

2. 1. 1. 1 審議事項  
なし

2. 1. 1. 2 報告事項

(1) 登録状況  
記載の通り

2. 1. 2 教育部

2. 1. 2. 1 審議事項  
なし

2. 1. 2. 2 報告事項

(1) 市民スキー

報告の通り。黒字で完了見込み。  
当日の怪我は打ち身のみ。物損は示談手続きとして対応済み。  
抽選会 リフト券の現物を当日持ってこれなかった。  
リフト券の還元方法は次年度以降の課題として検討する必要がある  
個人参加者が出ているので、今後の対応は課題として検討。

(2) サポートプログラム

西田理事が3/1夜入で対応予定

(3) 3月ファミリースキー

集客に課題あり。締切3/1

2. 1. 3 競技部

2. 1. 3. 1 審議事項

(1) ポール合宿のコーチ料  
40,000→50,000（1日5,000円増額）で対応する 【承認】

2. 1. 3. 2 報告事項

(1) ジュニア行事

(1) スノーヴァ新横浜の行事決算

自宅作業費は行事予算ではなく部管理として決算すること

(2) 12月度丸沼行事決算について

インフルエンザで早期帰宅した方への返金が未処理のため仮決算。（支払手数料等）

現地報告：

インフルエンザで早期帰宅2名。現地の適切な処置により保護者からのクレーム等はなかった  
財布を1名紛失した事案あり。  
申込みはスキー協会のホームページ経由。インターネットの広報を早めに  
（8月から探している人もいる）  
宿は貸し切りで使い勝手が良かった。検定に関しては課題があった（主任検定員等）  
参加者が少なかったが収支が改善できた点は、必ず振り返りを行って次年度行事に生かしていただき

(3) ポール合宿の集客状況について

19名申し込みで2名キャンセル 結果17名  
参加者が斜面を滑れるか（スタートハウスまで移動できるか）どうか確認しておくこと  
河邊会長が16日から入ることにする。  
17名で現在の見直しを確認したい

(2) 市民大会の決算

役員が4名で運営したことで決算は改善された

ただし最低ライン。役員4名はかなり負担が大きい。今後に向けては検討が必要。  
集計に関してミスも発生したため、次年度以降は改善が必要（昨年度と問題の本質は同じ）  
事務処理はスキー場側に業務委託を行うことも考えないといけない

(3) 市町村対抗

(1) 派遣選手

アルペン26名、ノルディック4名 合計30人

(2) 派遣役員

6名で確定（内1名は県連役員として対応）

2. 4 上部団体関連

2. 4. 1 体協関連

なし

2. 5 その他

2. 5. 1 規約規定委員会

開催に向けて検討する。

2. 5. 2 役員選出委員会

こちらも開催に向けて検討を進める

2. 5. 3 文化体育館サブアリーナ説明会

鈴木副会長が参加。

2. 5. 4 スポーツ人の集い

鈴木副会長が参加

3. 閉会挨拶（鈴木副会長）

魅力ある協会にして理事を増やす活動をする必要がある。特に若手にアピールをしていく必要あり。  
まだまだ行事は続くが、怪我無く体調にも留意して推進いただきたい。

以上